

奈良山通信

No.45



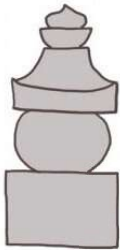
第四期奈良山供養塔までの参道に続き、広場スペースも“グラベルフィックス施工”をしました。水溜りもできにくくなり、車椅子の移動や杖、ハイヒールでも歩きやすくなりました。もちろん車の乗り入れも可能です。



阿弥陀さまとされた梅
推しシヨットケ
ケロツ



皆さんは「五輪塔」を知っていますか？



宗派に関係なく、亡くなった人が**成仏**し、極楽浄土へ**往生**させる**最高のお墓**とされています。

左図のように下から

- ・四角（地輪）
- ・丸（水輪）
- ・三角（火輪）
- ・半月（風輪）
- ・宝珠（空輪）

詳しく知りたい方は「お墓セミナー」へ来てね！！

墓守の心配がない「五輪塔（墓塔）」をご紹介します！

霊苑にも五輪塔のお墓があります。



樹木葬の墓塔区画

一区画に1名様～複数人の埋葬ができます。



永代供養型墓塔

いずれ永代供養塔に合祀する五輪塔です。

当苑にお墓を建立の方が、永代供養や樹木葬へ移行の場合、お墓の撤去費用は特別割引いたします。

法要祭



晴天に恵まれた桜花爛漫の日、法要祭は執り行われました。多数の方にご参拝いただき故人も悦んでいることでしょう。ご来苑有難うございました。

承ります！

遠方にお住まいの方、思うようにお墓参りが出来ない方等、ご連絡いただければ供花・しきび等を墓前に手向けさせていただきます。詳細はお問合せ下さい。

お原真い

つす火はま置い以し山近
て・炎消しいた前で火頃、
くごにえたて線、い事、
だ焼なて。い香壺ま等近
さ香つい幸たを苑すの隣
いはたまい区芝に。火地
。香らしに画生行災域
炉大たものがくがで
で変が線あ上と発
行で、香りに焚生

樹木葬にお参りの方へ

参加者が増えています～♪ お墓セミナー



※セミナー風景

先祖供養やお墓参りの大切さをテキストに添って理解を深める、座談会形式のセミナーです。興味のある方は是非ご参加ください。初めての方大歓迎！

- ・開催日 毎月 第2 木曜日
- ・日時 10時～12時
- ・場所 管理事務所2階

参加費 無料

発信元：奈良山霊苑管理事務所

〒798-1351

愛媛県北宇和郡鬼北町奈良4230-1

電話番号 0895-45-0164

FAX 0895-45-2860

携帯 090-7142-4100

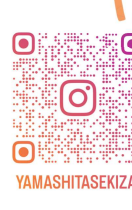
http://narayama-reien.jp

営業時間 9:00～16:00

定休日 日曜・祝日・年末年始

事務員のひとりごと

オまら身を最
口すい近始近
ー。いなめイ
し宜な存ま
てしと在しス
下げ思にたタ
されっな！グ
らム



YAMASHITASEKIZAI

忘れ物

杖の忘れ物がありまし
た。お心当たりの方は
お知らせください。

◆ご利用者様へ
墓地埋葬法第十四条に
よる、無断で納骨する
事はできません。
納骨の際には必ず
「埋（改）葬許可証」
をご提出ください。
また、ご契約者様の住
所等が変更の際にはお
知らせください。
宜しくお願ひします。



専務のコラム



私の住んでいる地域ではこの時期に毎年恒例の防災訓練が行われる。

朝8時に防災無線放送と共にサイレンが鳴ると、自分の身を守る行動をとった後、家族の安否確認をしてガスの元栓を閉め電気のブレーカーを落とす。防災リュックを背負いヘルメットを被ったら近隣住民と声を掛け合いながら申し合わせの空き地に早足で向かい、集まった人々とお互いの無事に涙を流して喜び肩を抱き合う。ということは全く無く、「毎日よう降るなあ」とおしゃべりしながらユルユル〜っと集まってくるのだ。いつもの見慣れた光景である。



2018年（平成30年）の西日本豪雨災害では、わが松野町でもいつもは穏やかな近くを流れる広見川が氾濫し、人家や田畑に濁流が押し寄せる様を目の当たりにして、一体いつまで雨が降り続けるのかと恐怖を覚えたのは今からたった7年前のことである。

柑橘農家が多い宇和島市では雨水をたっぷり含んだ山からの土砂災害により小学生を含む13名もの尊い命が奪われ29名が重軽傷を負った。また、家屋の浸水や倒壊など甚大な被害を被ったうえ、大規模停電と断水によって長期間にわたり不便な生活が強いられた。その後やむなくその土地を離れた方も多くいたという。当たり前のことだが、自然の猛威の前になすすべも無く誰もが無力感に打ちひしがれた。



自分が住んでいる地域に限らず、全国の至る所で災害は起こっている。昔、「天災は忘れたころにやってくる」と言っていたが現在では忘れなくても頻繁にやってくる。地震・雷・台風・洪水・大雨に大雪、更には竜巻や火山の火まで心配になるニュースは枚挙にいとまがない。

そこへ7月に大災害が起こるという科学的根拠のないSNSでのうわさが拡散されているという。

不安を煽って人々を混乱させようとするウソの情報に惑わされないよう、私たちは一定以上の備蓄や防災に対する知識を備え準備してあとはお空にお祈りするほか方法が無い。

大規模な自然災害の前では自分たちに出来ることは限られているのだ。

とはいえ、訓練が無意味なのかといえばそうとは思わない。

昨年4月17日23時過ぎ、四国の西南に位置する豊後水道沖を震源としてマグニチュード6.6の地震が起こった際、この地域でも震度4～5程度の揺れがあった。普段から災害に対しての備えをしている安心感からか、スマホのアラーム音にも気づくことなく朝を迎えた私に娘が言った。

「揺れながら爆睡しとるお母さん見よったらなんか冷静になれたわ」

これも訓練の賜物なのである。

